

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたいポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
住民の平等な利用の確保	共通	利用者の平等な利用が確保されているか、一部の利用者への偏りはないか	・グリーンホール指定管理者事業計画書P37 ・財団ホームページ	グリーンホール条例に基づき、施設予約システムによる平等な条件での貸出。	○	○	○	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】利用者の声を反映し、誰もが利用しやすい管理運営に取り組んでいる。	
	共通	年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが利用しやすいように工夫している（バリアフリー対応等、福祉の視点を持った来館者への対応がなされているか）	・令和元年度事業報告書P17 ・令和2年度事業報告書P16 ・財団ホームページ	◆さまざまなバリアフリー推進 ・施設のバリアフリー化、車いす貸出、受付での筆談対応、障害者用駐車スペース、だれでもトイレ ・職員のダイバーシティ意識向上研修の実施 ・音声ガイド、集団補聴、同行支援等の鑑賞サポートを行う映画上映会や、障害者が出演者となる場合を想定した「バラ劇場」研修を実施	◎	◎	○	○	◎	◎		
利用の促進及びサービスの向上に向けた取組	共通	利用者にとって分かりやすい施設利用案内や事業等に関する情報提供が行われているか。また、施設や事業等の情報について、広報誌以外の多様な方法で広報を行っているか。	・令和元年度事業報告書P27 ・令和2年度事業報告書P25～26 ・令和3年度事業報告書P24～25	◆施設や事業の情報提供 ・財団報ばれっと 毎月1回発行 市内各戸配付 ・ホームページでの情報提供 ・音楽情報誌への広告掲載 ・近隣市の新聞折り込み ◆広報誌以外の方法 ・デジタルサイネージ ・メールマガジン ・SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、youtube） ・コミュニティFM	○	◎	○	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】複数手法を活用して利用者からの意見要望を把握し、可能なものは迅速に対応したうえで対応結果をホームページ等で公表するなど、丁寧な対応により改善に努めている。 <課題点> ・【3館共通】利用者懇談会について、参加者が固定化しているようであれば、開催回数の見直し等多様な意見を収集する方法の協議・検討が必要だと考える。	
	共通	利用者の意見・要望を受け止め、施設の管理運営に反映させる仕組みを有しているか。また、利用者の声について、市と適切な情報共有を図り、効果的・効率的な対応手法を市に提案する等、課題解決に向けて適切に対応できているか	・令和3年度事業報告書P16、77 ・財団ホームページ	◆利用者の意見を施設管理運営に反映させる仕組み ・意見・要望の対応・結果の情報共有と財団ホームページでの公表。 ・利用者懇談会の年2回の開催。 ・市の所管部署と毎月定例ミーティングし情報共有 ・令和3年度施設利用率 大ホール 67%、小ホール 69%	◎	◎	○	○	○	○		
	共通	利用者アンケートを実施しているか。また、アンケート結果について結果は良好か。併せて、利用者ニーズを踏まえて対応の見直しや工夫など、利用者満足度の向上に向けた取組が行われているか		◆利用者アンケート（令和3年度） 施設利用者満足度 97.2% ・利用者の要望から改善させた事例 窓口でのキャッシュレス支払導入	○	◎	○	○	◎	○		

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★1指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたいポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている, ○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
	共通	施設の管理と事業の運営を一体的に行うことにより、事業の充実に図られ、施設の設置目的が効果的に達成されているか	・令和元年度事業報告書P35 ・令和2年度事業報告書P33 ・令和3年度事業報告書P32	◆施設管理と事業の一体的運営によるスケールメリット ・ラグビーワールドカップ2019ババリックビューイング、ファンゾーンの盛り上がり (事業) ⇨ 観客効果 ⇨ (施設)	○	◎	○	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】市の充実した文化活動の担い手であり、市のブランド価値を高める役割という自負を持って運営に当たっている。 ・【3館共通】専門人材を抱えているゆえに中長期視点での施設維持施策が実現できていると思われ、素晴らしい。 ・指定管理期間にこれまで培ってきた、市内桐朋学園大学や調布出身の音楽家との繋がり、連携により地域に根差した財団として、また3館の指定管理者として、その強みを生かした事業展開に取り組んでいる。 ・様々なジャンルの催し物があり、市民がとても楽しめる。素晴らしいアーティストの企画については、今後更に連携していただきたい。	・【3館共通】指定管理期間が10年間となったことを踏まえた事業展開・充実を図ることが必要。 ・【3館共通】3施設の規模・内容は異なるが、他の施設の管理や事業展開で得た知識や経験を更に生かすよう取り組むべき。 ・【3館共通】3施設の一元管理によりコスト抑制がどの程度できたのかを可視化していただけたらよい。
	共通 【せんがわ劇場以外】	企画から実施に長期間を要する新たな事業の実施や、長期的な視点による計画的・段階的な事業展開など、指定管理期間が10年間になったことを踏まえた事業の充実・成熟化が図られ、施設の設置目的が効果的に達成されているか(★)	・令和2年度事業報告書P33 ・別添「調布巡回アートプロジェクト」報告冊子	◆長期的視点で踏まえた時間的スケールメリット ・調布国際音楽祭の市民ボランティア「チームCIMF」、文化ボランティア「調布アートリポーターズ」など市民と連携する事業には短期間での成果向上は難しい →10年の指定管理期間により、継続性を重視した企画・運営が可能となりました	○	○	○	○	○	△		
	グリーンホール	調布市における舞台芸術の拠点であるグリーンホールにおいて、地域に根ざした劇場の特色を生かしながら、企画性、新規性に富んだ舞台技術を創造・発信しているか	・令和元年度事業報告書P18-20 ・令和2年度事業報告書P17-18 ・令和3年度事業報告書P17-18	◆地域に根ざした劇場の特色を生かし、企画性の高い事業展開 ・調布国際音楽祭 ・調布出身の音楽家をプロデューサーとした、クラシック音楽の祭典、市内の桐朋学園大学出身の演奏家だけでなく、海外からも演奏家を招聘し、国際色豊かで企画性の高い事業。	◎	◎	○	◎	◎	◎		
	グリーンホール	豊かな人間性と創造力を育む源泉である舞台芸術において、市民ニーズを的確に把握し、国籍、年齢、性別、障害の有無、経済的状況等に関わらず、誰もが参加できる音楽、演劇、古典芸能をはじめとした、幅広いジャンルの鑑賞事業を実施しているか	・令和元年度事業報告書P76-79 ・令和2年度事業報告書P69-72 ・令和3年度事業報告書P64-66	◆市民ニーズを把握し幅広いジャンルの鑑賞事業 ・主催事業ではクラシック音楽、伝統芸能、映画、児童劇など ・提携事業も取り入れ、ジャンルの幅広く 演歌、ポップス、パレエ、落語 ・誰もが参加できる 小さな小さな音楽会(無料)、絵ばなし習字(子ども、聴覚障害者)	◎	◎	○	○	○	◎		
	グリーンホール	地域に開かれた劇場として、人と人がつながる劇場をつくるため、誰もが気軽に参加できる市民参加型の企画を積極的に展開しているか	・令和元年度事業報告書P30-31 ・令和2年度事業報告書P25、28 ・令和3年度事業報告書P23-24、27	◆市民ニーズを把握し幅広いジャンルの鑑賞事業 ・地域に開かれ、人と人がつながる劇場 ・小さな小さな音楽会への公募市民の出演 (令和4年度は各回実施後に担当者及び出演者同士での意見交換会を実施予定) ・映画上映とバックステージツアー 市民ボランティアの活躍が運営の大きな力となっている	◎	◎	○	◎	○	◎		
事業計画の内容	グリーンホール	舞台芸術の価値を確実に継承していくため、様々な体験・育成支援プログラムを展開し、次世代を担う芸術家と鑑賞者を育成する取組が行われているか	・令和2年度事業報告書P69	◆次世代を担う芸術家と鑑賞者の育成 ・はじめてのミュージック・ツアー(令和2年度) ・調布国際音楽祭 フェスティバル・オーケストラ	◎	◎	○	◎	◎	◎		
	グリーンホール 【3館共通】	共生社会の充実や多文化共生の推進に向けて、これまで取り組まれてきた内容は効果的であるか。また、今後更なる充実を図るための具体的な方策が考えられているか	・令和元年度事業報告書P11 ・令和2年度事業報告書P10 ・令和3年度事業報告書P11、64	◆東京2020大会のレガシーと共生社会実現 ・財団独自テーマ「10年後の君へ。」 次世代へ明るい未来と夢を残すことをテーマとし、地域との連携・協働、伝統文化継承、芸術家・鑑賞者の育成に長期的視野で取り組む ・共生社会の実現 市内特別支援学校と連携した音楽ワークショップ ※新型コロナウイルスにより中止 →今後も年齢、性別、障害の有無にかかわらず多様な市民が参加できる事業を展開	○	○	○	○	○	○		
	グリーンホール 【3館共通】	他の類似施設や施設運営団体における取組も参考にしながら、社会潮流(平均寿命の伸長や、デジタル技術の進歩等)や利用者ニーズを的確に捉え、事業展開につなげられているか。	・財団ホームページ ・令和元年度事業報告書P76 ・令和2年度事業報告書P69 ・令和3年度事業報告書P64	◆社会潮流や利用者ニーズを捉えた事業展開 【デジタル技術の進歩に後押しされた新しい事業展開】 ・キャッシュレスでのチケット購入、ホール利用料支払い 【類似の公立文化会館との情報共有】 ・全国公立文化施設協議会の研修に参加 ・東京多摩公立文化施設協議会での情報共有、勉強会に定期的に参加 【利用者ニーズを捉えた事業展開】 ・「ホールであなただけのピアノ」大ホールのピアノを安価で演奏できる事業で、空き施設を有効に活用	○	○	○	○	○	△		
	グリーンホール 【3館共通】	財政支出の縮減と平準化のため、適切な維持管理による施設の長寿命化と、徹底的な省エネルギー等によるライフサイクルコストの縮減の取組がされているか	・調布市ホームページ ・財団ホームページ ・令和3年度事業報告書P16	◆財政支出の縮減と平準化 築45年を迎え、老朽化による更新の可能性をふまえた適切な維持管理が必要 ・令和3年度 冷温水発生機更新による電力削減 ・調布市と連携した施設の更新検討 ・設備の寿命計画の検証	○	◎	○	○	◎	○		
	グリーンホール 【3館共通】	たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場の3館連携による、それぞれの特色を生かした、効果的で全体的な視点での事業展開が図られているか	・令和元年度事業報告書P18-20 ・令和2年度事業報告書P17-18、33 ・令和3年度事業報告書P17-18	◆3館連携による全体的事業展開 ・調布国際音楽祭 ・巡る・アートプロジェクト(令和2年度)	○	◎	○	○	◎	○		

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたがポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている, ○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
指定管理業務に関する収支の状況	共通	指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、長期的視点での利用料金収入等の確保や支出の抑制についての取組（工夫・見直し等）が行われているか(★)		◆長期的視点での収支の取組 ・施設管理の委託業務について仕様変更し費用削減	○	○	△	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】助成金の獲得に向け積極的に取り組んでいる。 ・【3館共通】支出の内訳を常に見ることで、改善の余地がないか検討していくべき。 ・【3館共通】利用料金の在り方に関する検討・見直しを積極的にを行い、必要に応じて市に提案する姿勢が望まれる。 ・【3館共通】ファンドレイジングの評価が必要。個人からの寄付や企業協賛をもらえないかなど、収入の柱になるものについても検討の余地あり。 ・【3館共通】指定管理期間延長により、投資回収の考え方が導入しやすくなる。そういった検討もしていただきたい。 ・【3館共通】利用率の低い施設は、多目的利用を可能とする施設に改修したり、無料貸出スペースとしてもよいのではないかな。	・【3館共通】積極的にコストカットするという目標を持って取り組むべき。 ・【3館共通】支出の内訳を常に見ることで、改善の余地がないか検討していくべき。 ・【3館共通】利用料金の在り方に関する検討・見直しを積極的にを行い、必要に応じて市に提案する姿勢が望まれる。 ・【3館共通】ファンドレイジングの評価が必要。個人からの寄付や企業協賛をもらえないかなど、収入の柱になるものについても検討の余地あり。 ・【3館共通】指定管理期間延長により、投資回収の考え方が導入しやすくなる。そういった検討もしていただきたい。 ・【3館共通】利用率の低い施設は、多目的利用を可能とする施設に改修したり、無料貸出スペースとしてもよいのではないかな。
	共通	補助金の獲得など、自主財源の確保に努めているか。また、それを事業展開につなげているか	・令和元年度事業報告書P110、118 ・令和2年度事業報告書P103、111 ・令和3年度事業報告書P97、105	◆自主財源確保への取組 ・新型コロナウイルスで中止になった公演の払い戻しチケット代を寄付金として受ける制度を実施 ・調布国際音楽祭クラウドファンディング	◎	○	△	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】コロナ禍において、利用料金収入が大幅に減少し、指定管理料の増額（公費負担）で対応する状況が続いている。外部環境の変化に伴う収入確保対策は課題と考える。 ・【3館共通】寄附金については、収入規模から比較すると少ない印象。自己収入獲得策が課題。 ・指定管理料が143百万円と、費用が大きい印象。	
安定した運営が可能となる人的能力及び体制	共通	施設の管理に、人員が適切に配置されているか		◆施設管理の適切な人員配置 ・警備、受付、舞台、清掃などの委託業者も合わせ、安全・安心な施設運営ができる適正な人数を配置	○	○	○	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】調布市の行政実務研修に職員を派遣するなど、芸術文化の専門分野に特化せず、市と緊密に連携した人材育成を図っている。 ・【3館共通】アートマネジメント人材の育成においては、体系的な人材育成方針等によりノウハウの継承の視点も踏まえ、幅広い職員の意見も確認のうえ、計画的に取り組んでいただきたい。	・【3館共通】人事評価制度については、適切な運用が定着するまでに期間を要することが想定されるため、外部の専門家の知見の活用等も検討いただきたい。
	共通	指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、長期的視点での施設管理・運営や事業実施に関する職員のスキル向上（研修の実施や人事評価の実施状況等）に向けた取組が行われているか(★)	・令和元年度事業報告書P17 ・令和2年度事業報告書P16 ・令和3年度事業報告書P16	◆長期的視点での人的スキル向上 ・人事評価制度の導入（令和3年度～） ・芸術文化の専門知識と、経営管理スキルを併せ持つアートマネジメント人材を育成する研修 ・調布市への中堅職員の派遣研修 ・市の総合計画など基本的施策をふまえた事業展開につなげる	○	○	○	○	○	○	<評価できる点> ・【3館共通】調布市の行政実務研修に職員を派遣するなど、芸術文化の専門分野に特化せず、市と緊密に連携した人材育成を図っている。 ・【3館共通】アートマネジメント人材の育成においては、体系的な人材育成方針等によりノウハウの継承の視点も踏まえ、幅広い職員の意見も確認のうえ、計画的に取り組んでいただきたい。	
	共通	指定管理期間が10年間になったことを踏まえた、長期的視点での職員間における専門的な知識やノウハウの継承への取組が行われているか(★)	・令和2年度事業報告書P16 ・令和3年度事業報告書P11～16	◆長期的視点での組織運営 ・10年という長期の指定管理期間内では社会情勢も大きく変化が予想される ・基本計画の見直しを令和3年度に実施 ・公立文化施設協議会の専門支援員による最新の文化行政に関する研修、助言の活用 ・職歴ごとの研修や組織・人材強化	◎	○	○	○	○	○		

グリーンホール（とりまとめ）

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
施設の維持管理 の内容及び手法	共通	修繕や点検等を適切に実施するほか、施設・設備の不具合等の早期発見、早期対応ができていくか。併せて、指定管理期間が10年間に なったことを踏まえた、中長期的な視点での施設の維持保全について の取組が市と連携しながら適切に行われているか (★)	・令和元年度事業報告書P17、 89 ・令和2年度事業報告書P16、 82~83 ・令和3年度事業報告書P16、 76	◆施設・設備の修繕計画 ・老朽化した設備の更新提案 ・施設の長寿命化、コスト縮減の視点での提案 ・予防保全を重視し、不具合は早期発見・早期対応 グリーンホール年間修繕 約50件	○	○	○	○	○	○	<評価できる点> ・東京消防庁の優良防火対象物認定証の交付施設として、 火災や災害に備えた訓練実施等、積極的に取り組んでいる。	・グリーンホール建替えにあたり、良く響くホールに なるとよい。
	共通	利用者の安全対策を含む、緊急時（事故・災害・感染症）の対応策が 十分検討され、マニュアルや連絡体制が整備されているか。また、定 期的に訓練を実施しているか。訓練の結果、改善したものはあるか。 これらの取組について、職員のみならず、関係スタッフも含めた対応 が図られているか。	・BCP（事業継続計画）	◆緊急時対応への備え ・救命技能講習の受講 館内関係スタッフ含め全職員 ・マニュアルの定期的な見直し BCP（事業継続計画） 危機管理マニュアル ・安否確認システムを活用した緊急参集制度	◎	○	○	◎	○			
	共通	消火器やAED等の非常用装備について、定期的に整備及び点検がされ ているか。また、職員で取り扱えるよう訓練の実施やマニュアル等は 整備されているか。これらの取組について、職員のみならず、関係ス タッフも含めた対応が図られているか。	・令和元年度事業報告書P86 ・令和2年度事業報告書P79 ・令和3年度事業報告書P73~ 74	◆消防訓練・消防設備 ・年2回の自衛消防訓練による防災知識向上 館内関係スタッフ含め全職員参加 収容人数の多いホールがあるため、迅速な避難誘導、的 確な案内ができるよう訓練 ・消防関連資格の取得 ・法定の消防設備点検実施	◎	○	○	○	◎	○		
市との連携や市 における施策推 進への貢献	共通	災害時における市や地域等との協力体制の構築等に関する取組が行わ れているか	・令和3年度事業報告書P11	◆災害時の市や地域との協力体制 ・令和3年9月「災害時協力協定」を市と締結 ・避難所開設訓練を市と共催で年1回実施 ・令和2年9月の台風19号での水害時は、大ホールと小 ホールを避難所として市民に開放しました。 ・帰宅困難者の一時滞在施設として積極的に体制づくりに取 り組んでいます	○	◎	○	○	◎	◎	・【3館共通】災害時における体制構築については、 なるべく早く、「体制づくり」から「体制が整備され た」段階へと進むことを切望する。 ・【3館共通】災害時協力協定の締結や協定に基づく 市との共同訓練の実施など積極的に取り組んでいる。 引き続き、指定管理者としての経験を生かし市への提 言も含めて積極的に協力いただきたい。 ・【3館共通】国際交流の視点、多文化共生の視点を 踏まえて、市の施策と連動した新たな取組が必要。 ・地域との連携について、市内各地区への出張により グリーンホール関連事業に誘導する取組の可能性に大 いに期待。ただし、職員の負担も大きいと思われるの で、ボランティアやその他外部人員を巻き込んだ方法 の検討をするとよい。	
	共通	施設の貸出や各事業の実施等において、市への協力や市との連携に関 する取組が行われているか	・令和3年度事業報告書P11	◆新型コロナウイルス感染症対策として協力 ・令和3年8月に大ホール、小ホールを集団接種会場とした ・音楽鑑賞事業、成人式、敬老のつどいなどの多数の事業に 施設を提供	○	◎	○	○	◎	◎		
	共通	施設の管理運営や各事業の実施を通じて、市と基本計画における関連 施策の推進に貢献できているか (★)	調布市基本計画 施策19-1 「芸術・文化事業の実施」	◆調布市の基本計画関連施策への貢献 「芸術・文化事業の実施」に基づき、 ・芸術・文化に触れる機会の確保 ・芸術・文化活動の場の確保 ・芸術・文化活動に関する情報の提供 ・芸術家・文化人や地域資源との連携によるまちの魅力づく りの推進に貢献	○	◎	○	○	◎	◎		

グリーンホール（とりまとめ）

評価の視点	評価対象施設	評価内容 (★一指定期間10年としたことを踏まえた評価実施)	評価材料	プレゼンテーション説明内容の概要 (説明のポイント、評価してもらいたがポイント等) ※事前に指定管理者が記入	評価 (◎：優れている、○：標準的 △：改善余地あり ×：抜本的な改善が必要)						コメント欄	
					A評価員	B評価員	C評価員	D評価員	E評価員	G評価員	現状における課題点	今後の取組の方向 (強みを伸ばす、弱みを改善する方策等)
	共通	個人情報の保護及び情報漏洩防止のための体制は適切か	・令和3年度規則・規程集	◆個人情報保護と情報漏洩防止 【市民の個人情報保護を扱う責務の自覚】 ・財団の「個人情報保護規程」「情報公開規程」に基づき厳正に管理 【調布市監理団体・公益財団法人職員としての自覚】 ・情報セキュリティ研修の実施（令和2年9月）	○	○	○	○	○	○	<課題点> ・【3館共通】個人情報保護については、改正個人情報保護法（2022年4月施行）に基づき、適切な管理に努めて頂きたい。また、定期的な研修実施など職員への周知啓発を図っていただきたい。 ・地域との連携について、市内各地区への出張によりグリーンホール関連事業に誘導する取組の可能性に大いに期待。ただし、職員の負荷も大きいと思われるので、ボランティアやその他外部人員を巻き込んだ方法の検討をするとよい。	
その他	共通	地域等との連携による取組や地域貢献活動の実施内容は適切か(★)	・令和元年度事業報告書P21 ・令和3年度事業報告書P17～17	◆地域との連携、地域貢献活動 ・市内アウトリーチ事業「能楽茶事in白百合女子大学」 ・調布国際音楽祭 深大寺本堂、布田天神社、市内飲食店でのコンサート、 市内各地区に出張し、グリーンホールでの関連事業に誘導する。指定管理期間が長期間になったことで、今後も各地域との持続的な協働を予定 ・調布駅前クリーン作戦への参加	○	◎	○	○	◎			
	共通	省エネルギー、省資源等の環境へ配慮した取組が確保されているか	・令和3年度事業報告書P16	◆環境への配慮 ・館内照明の一部LED化（蛍光灯1台あたり電力量41%、非常用誘導灯1台あたり73%削減） ・冷温水発生機更新による電力量削減 ・ペーパーレス化推進 ・業務のデジタル化	○	◎	○	○	◎	◎		

- ◎評価結果(評価員からの主な意見)を踏まえた市における課題整理 ※今後のサービス向上等に向けての指定管理者との調整における視点
- ・【3館共通】利用者意見の効果的な収集及び利用者の声に対する適切な対応
 - ・【3館共通】それぞれの施設において培った経験やノウハウを活かした、3館連携の事業展開
 - ・【3館共通】若年層などあらゆる世代に関心を持ってもらえるプログラムの充実及び地域の交流拠点としての施設の有効活用
 - ・【3館共通】ファンドレイジングの取組強化や事業助成金の獲得の拡大等による財源確保と積極的な施設管理コストの縮減
 - ・【3館共通】中長期的な視点での人事戦略に基づく計画的な人材育成
 - ・【3館共通】指定管理者としての経験を生かし、市や地域等との災害時協力体制の継続的な構築・共同訓練等の実施
 - ・【3館共通】国際交流、多文化共生の視点を踏まえ、市の施策と連動した取組の検討・実施
 - ・地域との連携によるグリーンホール利用者増加に向けた取組の継続